

べんけい草

号外 FAX 版



震災に際して

会員団体の安否のお知らせ

今回の大震災で被災された地域の方々へ、心よりお見舞い申し上げます。次々と明らかになる被害の全貌に、テレビから目が離せず、心を痛めています。

皆様が心配されている東北各地の会員団体の状況について、事務局で把握していることをお知らせします。

NPO法人あかねグループ（仙台市若林区）

深刻な津波被害が伝えられていた区内に拠点があり大変心配していましたが、3月13日（日）14日（月）に連絡がついています。地震当日金曜日も利用者の安否確認のために配食を決定、土・日は電気・ガスが復旧されないため炭を使って米を炊

き、おにぎりや冷蔵庫に合った野菜を利用者さんに配食されています。13日曜の段階ではボランティアのみなさんは避難所におられました。

代表の武田美江子さん、食事サービス担当の清水さん、介護保険事業担当の佐々木さんとお話をし、皆さんけがもなく無事と確認がとれています。

拠点間近まで津波が迫り、周辺は流木などで大変な状況とのことでした。

ぼけっと・はづす（仙台市太白区）

星野さんと14日（月）に連絡がとれています。拠点に人も被害は無いが、ガスが復旧していないので弁当が作れない、電気は復旧しているため電気釜でご飯を炊きおにぎりを配る。

グループゆう（仙台市泉区）

事務局の鈴木さんと連絡が取れています。拠点、人も被害なし。13日（月）から電気復旧したが、水・ガスが無く14日（火）から配食サービスは休止の予定。

ささえ愛「ふらっと」（福島県伊達郡）
室井さんと連絡がとれています。拠点の被害、けが人もなし。12日（日）に利用者宅を回り安否を確認。

もりおか配食サービス（岩手県盛岡市）
理事長の川島さん、事務局長の沼田さんと連絡が取れています。大きな被害はなく、ライフラインも問題なしだが、ガソリン・食材の不足のため、水曜日からサービスは休止の予定。

通信の状態が安定しないため、連絡が取れない団体があります。仙台のけやきグループ、ふたばの会、賢和会のみなさんの様子をご存じの方は事務局までお知らせ下さい。

被災地の皆様、どうぞ御身大切にとお祈りしています。私達の心が届きますように。

義援金について

全国老人給食協力会の義援金募集口を開設準備中です。

◎とにかく今、私たちにできることをと考え、被災地の会員団体である仲間へ直接送るの義援金を募ろうと思います。

本日、「全国老人給食協力会震災義援金募集口」の口座開設の申込をいたしました。

◎開設までに1週間ほどかかるため、受付できる状況が整ったところでまたご連絡をさせていただきますので、どうぞみなさまご協力下さい。義捐金のご準備を何卒よろしくお願いいたします。

英国WRVS事務局長のリンさんからメッセージ

◆3月2日に全国老人給食協力会事務局長平野が、ボランティアによる配食サービスの草分けであるWRVS (Women's Royal Voluntary Service)事務局長のリン・ベリーさんにロンドンでお会いしました。彼女からメールでメッセージが届きましたので掲載します。

皆さまにお会いしたことがどんなに素晴らしかったかと、ずっとお返事差し上げようと思っておりました。しかし、日本に起こった悲惨な出来事に、心を奪われてしまっているようです。どのようにご支援することができているのか想像することもできません。しかし、WRVSとしてまた私個人として、何かできることがあるはずです。もし、何かできることがあれば、どうぞお教えてください。ご存じかもしれませんが、私が初めて日本にかかわるようになったのは、神戸の震災の後でした。その損害の大きさとともに、皆さんの勇気、そしてそこから立ち上がる力が深く心に刻まれています。それが、いかに困難な状況であっても。

私たち、そしてイギリスにいる友人は、あなたとあなたのご家族、友人そして仲間の皆さんのことをいつも思っていることを、どうか忘れないでください。

リン

リン・ベリー CBE
WRVS 事務局長

事務局より

被災地から遠く離れた私たちは、心は被害に遭われた方に向けながら、いつもと変わらず日々の活動・仕事につとめましょう。そして自分のやり方でこれから始まる復興を長く支えましょう。

発行日：2011年3月15日

発行：全国老人給食協力会

東京都世田谷区桜丘4-13-21

電話 03(5426)2547)

FAX03(5426)2548

info@mow.jp